



illustration by 羽雪 © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

CONTENTS

- ② ★特集 赤い羽根共同募金
- ③ ★第66回赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール優秀作品
- ④ ★共同募金のつかいみち ★福祉実践教室
- ⑤ ★傾聴ボランティア養成講座 ★夏休み福祉体験
★子育てサロンまむ*まむ
- ⑥ ★平成25年度大口町社会福祉協議会決算報告
★社協会員加入のお礼 ★善意だより
- ⑦ ★平成25年度社協事業報告
- ⑧ ★介護豆知識
- ⑨ ★大口子育て情報 ぎゅっと
- ⑩ ★ボランティア情報局
- ⑫ ★防災講演会
- ⑬ ★夏休み親子福祉教室
- ⑭ ★平和学習会 ★親の会学齢部 夏の活動
- ⑮ ★重度身体障がい者日帰り旅行参加者募集
★心配ごと相談所開設日程
★ひとり親家庭日帰り旅行参加者再募集 ★災害義援金募集
- ⑯ ★回想法基礎研修 ★運転ボランティア養成講座

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp





じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

特集
赤い羽根共同募金

共同募金運動

10月1日から12月31日まで

平成25年度の共同募金運動について、多くの町民の皆様のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年度も、町民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに全国一斉に運動が始まります。

共同募金の助成は、高齢者サロンの運営や草の根のボランティア活動の費用から、障がい者作業所の車の整備・社会福祉施設の改修まで、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。

町民の皆さまをはじめ、町内企業様、協力団体様により一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会
会長 水野多二男

大口町共同募金委員会事務局
大口町伝右一丁目35番地
(大口町社会福祉協議会内)

TEL: 94-0060

FAX: 94-0059

区長さんを通じて、
各ご家庭に募金を
お願いする方法

戸別募金

募金機能付き自動販売機
で商品を購入すると、一部
が募金になる方法

自動販売機
での募金



自動販売機は、健康文化センター1階と大口一期一會荘に設置されています

街頭募金

スーパーマーケットなど
の人通りの多い場所
で、募金をお願いする
方法

職域・法人
募金

企業、団体、官公庁などの
職場で、従業員の方に募金
をお願いする方法

共同募金には税制上の 優遇措置があります

共同募金会は、税制上、国と地方公共団体と同じように、寄附に対する『優遇措置の対象団体』になっています。そのため、寄附者は優遇措置が受けられます。

税制上の優遇措置が講じられているのは、共同募金会の行う事業が社会福祉法によって位置づけられた運動であり、共同募金による助成が社会福祉の増進に貢献していると、社会的評価を得ているためです。

●個人からの寄附

所得税(国税)の寄附金控除対象となる上、さらに個人住民税(地方税)の寄附金税額控除対象にもなります。

●法人からの寄附

法人の所得から支出された共同募金への寄附は、全額損金扱いとなり法人税の優遇措置が適用されます。

※共同募金のしくみ・税制上の優遇措置について、詳しくは中央共同募金会ホームページへ
<http://www.akaihane.or.jp>

平成25年度 赤い羽根共同募金 実績額

3,522,551円

このうち、88%が大口町内で実施する福祉事業に、12%が愛知県内の広域の社会福祉施設の整備や団体の事業に役立てられます。

詳しくは4ページをご覧ください。

平成26年度 赤い羽根共同募金 目標額

3,708,000円

(内訳)

一般募金

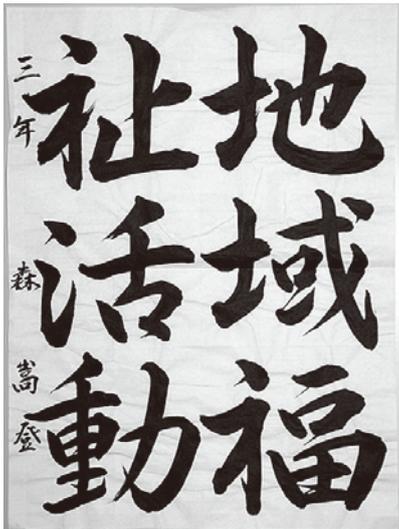
3,519,000円

歳末たすけあい募金

189,000円

赤い羽根共同募金は、あらかじめ事業の必要性や緊急性を考え、寄附者の方々に納得いただけるような配分計画を立て、その計画額を目標額として行っている募金です。

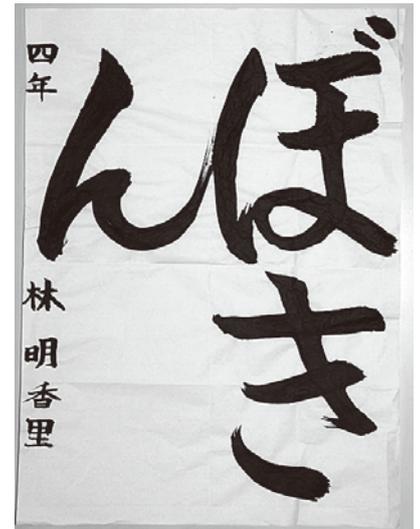
第66回赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール優秀作品



大口中学校3年
森 嵩登



大口西小学校6年
山田 夏生



大口西小学校4年
林 明香里



大口中学校3年
平松 優里



大口中学校3年
中間 理彩紀



大口西小学校3年
稲波 茜音

愛知県共同募金会が主催する作品コンクールに、今年度も町内小中学校から書道444点、ポスター276点の応募作品がありました。多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

各学校からの推薦作品40点の中から、大口町共同募金委員会の審査により、上の6点を優秀作品として愛知県共同募金会へ推薦しました。

学校推薦作品は、次のとおり展示し、赤い羽根共同募金の啓発に役

立てられます。ぜひご覧ください。

※上の6点の優秀作品は、愛知県共同募金会の審査終了後、大口町内で展示させていただきますのでご了承ください。

- ①健康文化センター1階 町民ギャラリー
9/26(金)～10/8(水)
- ②アピタ大口店2階
10/10(金)～10/23(木)
- ③健康文化センター2階 社協事務局前
11/1(土)
(ふれあいまつり開催日)

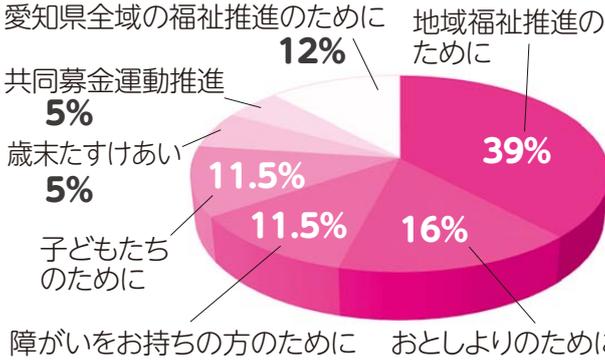


アピタ大口店での展示の様子
(昨年度)

昨年度の募金が、今年度の事業につかわれます
共同募金のつかいみち

(平成25年度 赤い羽根共同募金 実績額)

3,522,551円



88%

大口社協が配分を受け、町内で実施するさまざまな福祉事業に役立てられます。

12%

愛知県内の広域の社会福祉施設や車両の整備、団体の事業に役立てられます。

赤い羽根共同募金配分金事業(一部抜粋)

地域福祉推進のために 1,367,852円
ひとり親家庭夏休み日帰り旅行、ボランティア養成講座、ふれあいまつり、ふれあいサロン事業など

おとしよりのために 550,000円
敬老事業、おせち料理配布事業

障がいをお持ちの方のために 400,000円
重度身体障がい者日帰り旅行、障がい者スポーツ大会、障がい者団体の活動助成など

子どもたちのために 400,000円
福祉実践教室、赤ちゃん訪問プレゼント事業(民生委員児童委員ドアノッキング事業への協力)

歳末たすけあいに 175,699円
車いす、ふれあいサロンなどの備品整備

共同募金運動推進のために 177,000円

愛知県全域の福祉推進のために 452,000円



赤い羽根共同募金配分金事業
大口南小学校・西小学校
福祉実践教室

6/19(木)・6/20(金)・6/26(木)



盲導犬のヴェスタは、今年で引退。
長い間がんばってくれてありがとう!

大口社協では、福祉教育の一環として、子どもたちが老いることや障がいに対する正しい理解を持ち「ともに生きる力」を育むため、体験型の福祉実践教室を行っています。

大口南小学校3年生から6年生の児童205名、大口西小学校6年の児童83名が福祉実践教室に参加しました。

手話、点字、車いす、盲導犬、それぞれの教室で、障がいをもつ当事者の方が講師となります。ただ知識や技術を覚えるだけでなく、当事者の方から日常生活の体験談や、困ったときの対応のしかたを教えてもらいます。

体験した児童からは、「聞こえない人には、手話など見える方法が大切だとわかりました。」「点字の先生に、上手ですといわれて、うれしかったです。」「車いすの先生が声をかけてくれて、安全に乗れました。」「ヴェスタくんが、先生を信頼して一生懸命守っていることが印象に残りました。」などの感想がありました。

11月開講「ふれあいサロン
 運転ボランティア養成講座」
 12月開講「回想法基礎研修」
 16ページをご覧ください!

赤い羽根共同募金配分金事業

傾聴ボランティア養成講座

6/23(月)・6/30(月)・7/7(月) 全3回講座



「高齢者が増える中、傾聴は今後ますます必要とされていきます。」と講師の早川一枝氏。



大口社協では、毎年、ボランティア養成講座を開講しています。

養成講座の目的は、新たなボランティアの育成や、既存のボランティアサークルの補強。現在、社協ボランティアセンターに登録し活躍中のボランティアは、この養成講座の修了者が少なくありません。

今回は、平成23年度に同講座の修了者が立ち上げたサークル「傾聴ボランティアだんぼ」の補強と新たな傾聴ボランティアの育成を目的として開講。

傾聴は、聴き手が謙虚さを持ち、目と耳と心で積極的に「聴く」ための技術。

話し手の話を受け止め共感し、心の浄化や自尊心を取り戻す聴き方とは…?

8名の受講者は、話し手と聴き手の体験、テーマ別の話し合い、自己分析等、講師の助言を受けながら実践。「話し手が話したいと思う聴き方には、コツがあるんですね。」「傾聴って本当に大切だと知りました。ボランティアだけでなく、自分自身の人生にもいかしていきたいです。」等の感想がありました。

「傾聴を始めて10年になりましたが、今でも勉強中」と講師の早川氏。傾聴のやりがいと奥深さを実感する講座となりました。

赤い羽根共同募金配分金事業

ふれあいサロン 子育てサロンまむ*まむ

毎週火曜日の午前中、おもちや図書館内で行われている「まむ*まむ」は、ママたちの居場所として、すっかり定着。年間延べ1,000人以上の親子が利用しています。

ボランティアが、かわいい乳幼児を連れたママたちを見守ります。



大口中学校JVC 夏休み福祉体験

今年の夏も、大中のボランティアが保育園や児童館で活躍しました!

子どもたちは、大きいお兄さんお姉さんと遊んで大喜び。

「子ども大好き!」という中学生のみなさん。将来が楽しみです。



福祉関係団体の育成・助成

●大口町身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、尾北精神障害者家族会、しらゆり会大口支部への助成

共同募金事業

●町内各地区・法人のみなさまのご協力により共同募金運動を実施
・赤い羽根共同募金実績額

3,346,852円

・歳末たすけあい募金実績額

175,699円

●共同募金配分金事業の推進と充実
●募金機能付自動販売機を健康文化センター1階、軽費老人ホーム一期一会荘1階に設置
●災害復興義援金の募集窓口を設置

貸付事業

●生活福祉資金貸付制度の窓口業務
●町くらし資金・緊急一時支援等

相談事業

●心配ごと相談所の開設
(毎月第1・第3・第4水曜日)
(相談者数 延76名)
●総合福祉相談の窓口常設
(相談者数11名、支援回数延254件)
●日常生活自立支援事業の相談窓口常設

貸出事業

●わたがし機、ポップコーン機、松葉杖、福祉車両、車いす等の貸出サービス
(総貸出件数 208件)

在宅福祉サービス 3事業所の経営

●大口社協居宅介護支援事業所
●大口社協訪問介護事業所
●大口社協デイサービスセンター

福祉関連事業

●大口町表彰式典の開催(町との共催)
平成25年11月23日
●点字投票制度への協力
●平成25年度西尾張ブロック社会福祉協議会災害救援活動会議幹事社協として防災講演会の開催 平成25年10月12日
(参加者数 190名)
●「平成25年度西尾張ブロック社会福祉協議会ボランティアフェスティバル」
平成25年12月15日
(参加者数 513名)



平成25年度 大口町社会福祉協議会決算報告

| 項目 | 金額(単位:円) |
|------------|-------------|
| 会費収入 | 3,241,600 |
| 寄付金収入 | 1,776,444 |
| 補助金/助成金収入 | 25,439,271 |
| 受託金 | 9,419,949 |
| 貸付事業等収入 | 828,600 |
| 共同募金配分金 | 3,655,735 |
| 介護保険事業等収入 | 43,943,879 |
| 支援費等利用料収入 | 9,270,007 |
| 経理区分間繰入金収入 | 10,800,880 |
| 繰越金(前期) | 23,029,353 |
| その他 | 192,180 |
| 収入合計 | 131,597,898 |

| 項目 | 金額(単位:円) |
|----------------|-------------|
| 法人運営事業 | 29,129,333 |
| 企画・広報事業 | 266,798 |
| 地域福祉推進事業 | 607,089 |
| 資金貸付事業 | 650,910 |
| 心配ごと・総合福祉相談事業 | 490,336 |
| 共同募金配分金事業 | 4,272,073 |
| ボランティアセンター活動事業 | 6,126,294 |
| 居宅介護等事業 | 27,483,734 |
| 老人デイサービス事業 | 27,564,725 |
| 居宅介護支援事業 | 11,266,830 |
| 当期末繰越金 | 23,739,776 |
| 支出合計 | 131,597,898 |

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあなたから寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。
順不同(6月～8月 取扱い分)

- 尾北ソーシャル連合会 様 26,350 円
- ダンスサークル大口 様 45,000 円
- 株式会社サカイ 様 500,000 円
- 宮本幸三 様 未使用品おむつ等



株式会社サカイ様より、会社創立50周年記念・介護サービス事業開始10周年記念として、ご寄付を頂戴しました。

社協会員加入のお礼

今年7月からの会員募集について、一般会員・賛助会員・法人会員の皆様のご賛同をいただき誠にありがとうございました。

また、会員募集について、各地区区長さんをはじめ地区役員の皆様には、多大なご協力を賜り、ありがとうございました。

会費は、社協で実施する各種事業の貴重な財源として、大切に活用させていただきます。

平成25年度 社協事業報告(抜粋)

去る平成26年5月16日(金)に社会福祉協議会理事会、5月27日(火)に社会福祉協議会評議員会が開催され、平成25年度の事業報告と決算報告が承認されました。

なお、平成25年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は社会福祉協議会窓口にて公開しておりますので、閲覧希望の方は、本会までお申出下さい。

理事会・評議員会の開催

●理事会

- 第1回 平成25年5月17日開催
- 第2回 5月28日開催
- 第3回 8月23日開催
- 第4回 10月28日開催
- 第5回 平成26年3月18日開催

●評議員会

- 第1回 平成25年5月28日開催
- 第2回 平成26年3月27日開催

社協会員募集

- 一般・賛助会員 5,250件
(加入率68%)
- 法人会員 78件
- 会費合計金額 3,241,600円

広報・啓発活動

- 「おおぐち社協だより」を4月、7月、10月、1月の計4回発行
- ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ事業を公表、事業の利用及び参加・協力の働きかけを実施
- 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催

ボランティアセンター

- 夏休みボランティア出前講座の実施
(参加人数合計108名)

| 場所 | 月日 | 内容 |
|---------|-------|---------|
| 北児童センター | 7月25日 | 手話 |
| 西児童センター | 8月19日 | 高齢者疑似体験 |
| 南児童センター | 8月28日 | おもちゃ図書館 |

- ボランティア養成講座の実施
 - ①点訳ボランティア養成講座(全8回)
(参加延人数 15名)
 - ②災害ボランティアコーディネーター養成講座(全5回)
(参加延人数 69名)
- ボランティア研修会の実施
大口町ボランティア連絡協議会と合同で、キューピー(株)挙母工場で食育に関する研修会を開催
平成25年7月12日(参加者数 31名)
- 社協ボランティアセンター登録
団体数33 団体(延458名)
- ボランティア保険加入及び事故時等の事務
ボランティア活動保険加入者数
団体 61団体(1,032名) 個人 7名
総加入者数 1,039名
(男性420名 女性619名)
・事故件数 1件
- ボランティア派遣
各種団体・個人からの依頼により、ボランティア派遣を調整(11件)

児童福祉

- 町内小中学校と協働で、福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施し、福祉教育を推進
(参加児童・生徒数 延1,123名)
- 子育て支援サークルの活動支援
- おもちゃ病院「おおぐち」の支援
- 青少年等ボランティア福祉体験学習事業の実施協力
(大口中学校JVC 参加生徒数 延104名)
- 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業の実施協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼント
(5ヶ月訪問 202名、1歳訪問 208名)

高齢者福祉

- 単身・高齢者世帯に対し大口町水彩画クラブ、民生委員の協力により、おせち料理配布事業を実施
平成25年12月30日
(配布数100世帯)
- 「敬老の日」に80歳以上の在宅高齢者及び入所施設利用者へお祝い品の贈呈
平成25年9月13日
(配布数 在宅252名、施設150名)
- 介護者向け情報冊子「介護まめ知識」を対象世帯に配布
- 地域見守り支え合いを考える会に参加し、行政とともに町民どうしの見守り体制についての話し合いを支援し、ふれあいサロン活動を提案

- 大口町高齢者軽度生活援助事業(ホームヘルパー)、大口町生きがい活動支援通所事業(デイサービス)、大口町はつらつ健康体操事業(いきいき教室)の受託

障がい児者福祉

- 第29回大口町障がい者スポーツ大会の実施 平成25年9月21日
(参加者数 288名)
- 重度身体障がい者日帰り旅行の実施
平成25年10月22日
(参加者数 18名)
- 大口おもちゃ図書館さくらの活動支援
- 大口町障がい者等地域生活支援事業(移動支援事業)の受託
- 精神障がい者を対象とするサロン「フリースペースれんげそう」の運営支援
開催回数24回
(参加者数 延435名)

母子父子福祉

- ひとり親家庭夏休み日帰り旅行の実施
平成25年8月3日
(参加数14家族37名)
- 母子家庭等に対する「就業相談日」を開設
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈呈(19件)

ふれあいサロン

- サロン設立初年度の備品助成
- サロン開催実績回数(上限24回)に対し助成
- サロンに対する行事保険の加入
- サロン活動に必要な備品の貸出
- サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援

| 種別 | サロン名 |
|------|-------------------|
| 障がい | フリースペース れんげそう |
| 傾聴 | 傾聴サロン笑桜会 |
| 子育て | 子育てサロン まむ*まむ |
| 地域全般 | 外坪区ほっこり |
| 地域全般 | 大屋敷新田地区 いっづく茶屋 |
| 地域全般 | サロンさつき |
| 高齢者 | 萩島地区茶々会 |



多くの方が認知症の方の介護をされておられることと思います。

ただ「認知症とは何か」ということについて十分に理解されていない方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

まずは認知症とはどういうものか、以下に記載させていただきますので、少しでも皆さんの参考にしていただければ幸いです。

1. 認知症とはどういうものか

認知症は、「生後いったん正常に発達した種々の精神機能が慢性的に減退・喪失することで、日常生活・社会生活を営めない状態」を言い、わかりやすく説明すると、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態(およそ6カ月以上継続している)を指します。

認知症を引き起こす主な疾患には、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく「変性疾患」と呼ばれるもの(アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病等)や、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化等により神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、その結果その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう「脳血管性認知症」があります。



2. 認知症はどのような症状が現れるか

認知症になると、脳の細胞が壊れることによって直接起こる「中核症状」と、「周辺症状(近年は行動・心理症状ともいう)」が現れます。中核症状には、記憶障害(新しいことを覚えられず、進行すると覚えていたはずの記憶も忘れる)や見当識障害(時間・場所・人物の失見当)等が、周辺症状には、本人が元々持っている性格、環境、人間関係等様々な要因が絡み合い、精神症状(妄想等)、行動上の問題(徘徊、不潔行為等)が起こります。





大口子育て情報 ぎゅっと

【編集】特定非営利活動法人「まみーぽけっと」

【HP】

http://www.geocities.jp/mammy_pocket2003/index.html

子育てをしていると、自分の体調が悪いときや、急な用事ができたとき、子どもの預け先に困ることがあります。祖父母に頼むことが多いかもしれませんが、行政や民間が行っている一時預かりを利用してみるのもよいかもしれません。

＊就学前児童一時預かり事業

次のような児童に対し保育を実施し、児童福祉の増進を図ります。

- ◎ 保護者の就労形態により、家庭における保育が週3日程度で継続的に保育が困難となる児童
- ◎ 保護者の傷病または冠婚葬祭等により、緊急かつ一時的に保育を必要とする児童
- ◎ 保護者の育児等に伴う心理的又は肉体的負担を解消する等の私的な理由により、一時的に保育が必要となる児童

- ★対象 町内在住の満1歳から就学前児童
- ★場所 大口中保育園
- ★人数 1日当たり5人以内
- ★日数 週3日程度とし、1か月につき14日まで
- ★時間 月から金の8:30～16:30まで

| 児童区分 | 利用料 (児童1人1時間当たり) | 給食費 (児童1人利用者のみ) |
|--------|---------------------|--------------------|
| 満1・2歳児 | 600円 | 200円 |
| 3歳児以上 | 500円 | 200円 |

申し込み先 大口中保育園 95-2862 *利用日の前月1日から3日前までに申し込みをしてください。

＊大口町 すくすくサポート

会員登録をし、会員がお互いに助け合いながら子育ての環境づくりをする制度です。

- ★時間 7:00～20:00
- ★料金
 - ・7:00～8:00 700円/1時間
 - ・8:00～18:00 600円/1時間
 - ・18:00～20:00 700円/1時間
 - ・土・日・祝日 終日700円/1時間

- ★対象 0歳から小学6年生
- ★場所 原則、援助会員の自宅
- ★会員登録

援助会員

大口町に在住し、育児のお手伝いをしたい方で、年齢60歳ぐらいまでの方。

依頼会員

大口町に在住し、育児の手助けをして欲しい方。



＊特定非営利法人 共生ホーム 結

上小口にある「結」は住み慣れた街で安心して暮らせるようにとの思いでつくられました。どなたでも利用できるのでお困りの際は気軽に相談ください。

- ★時間 8:30～17:30
木・日曜日、1月1日～3日は休み
- ★料金 半日(4時間) 1,500円
一日(9時間) 3,000円
昼食代・おやつ代 600円(持ち込みであれば不要)

連絡先 TEL・FAX 0587-74-5235

＊病児病後児保育

- ★時間 月曜～金曜日 8:30～17:30
- ★料金 500円/1時間 1日最大3,000円まで
- ★対象 大口町および扶桑町に在住する、生後3か月から小学校3年生までの病気や病気の回復期である児童。
- ★定員 2名

実施医療機関 つくしこどもクリニック 95-0600

*詳しくはお問い合わせください。



ボランティア情報局

夏休み中、3つのボランティアサークルによる出前講座が、各児童センターでおこなわれました。どのサークルも子どもたちが自然と夢中になるように、様々な工夫がされていて、参加した子どもたちは、「こんなの初めて〜」「やった〜」「むつかしい〜」などと、時間を忘れるほど楽しんだようでした。どの会場でも、ちょっとしたトラブルが発生しますが、どんなことが起きようと、いつも参加している子ども側にとって、臨機応変に活動を進めるボランティアさんの姿は、子どもたちが「先生!先生」と呼んでしまうほどでした。



災害救援ボランティア

毎月第3土曜日、午前9時30分から午後12時まで、健康文化センターボランティア室にて活動



8月21日(木)、西児童センターにて、昨年の倍の60人近い参加者でおこなわれました。災害時に役立つ「もやい結び(荷重がかかっても結び目の部分が動かず輪の大きさがかわらない。また、自然に解けにくいにもかかわらず必要となれば、水で濡れていたりしても簡単に解くこともできる)」や、新聞紙で作る簡単スリッパ、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方などをおこなったあと、自分の身を守る方法のクイズが出され、会場は大盛り上がりでした。



これを
もやい結びって
言うのよ



あれっ
ここどうやるん
だっけ?



はけた!

スリッパに
なるのかな〜



頭をケガした
ときは……



大口町の避難所は
どこから質問だ!
簡単、簡単

えっと、ひろげず
から、頭にまくん
だったよね?



大口おもちゃ図書館 さくら

毎月第2土曜日、第3木曜日、午前10時から午後3時まで、健康文化センターおもちゃ図書館にて活動

8月22日(金)、北児童センターにて、30人の参加者がありました。尾張富士の「山のせいくらべ」と徳林寺の「きえた山んぼ」の紙しばいを見たあと、カプラー(右脳と左脳を同時に使って遊ぶ積み木)で仲間と協力してタワーを作りました。バルーンでは、ボールや音楽が入りどどん盛り上がり、最後にいろいろなおもちゃで時間を忘れるほど遊びました。

さあ、バルーンの中へ入るよ～



徳林寺って余野にあるお寺だよ

このおもちゃ、なんでもおもしろいのか、わからぬのに、何回も遊んじゅうんだ



見て!この夏一番の真剣顔



ちょっと～! ななめじぬない?!

いい?見ててよ。車が反対むくからね



大口町手話サークル コスモス

毎週木曜日午前10時から12時まで、健康文化センターボランティア室にて活動

8月28日(木)南児童センターにて、40人の参加者でおこなわれました。サークルの安藤さんがあいさつをしたあと、手をキラキラさせる拍手をしていた子どもたちもいました。福祉実践教室で教えてもらったことを覚えていたようでした。日常生活のあいさつを手話で練習したあと、ジェスチャーかるたで盛り上がり、身近な物を手話で表現し、最後にみんなで「さんぽ」を手話で歌いました。「聞こえない人は、おうちでどうやって会話をするの?」と質問も出ました。

へ～手話で、コアラとイチゴは似てるんだあ～



「さんぽ」の手話ソングは完璧!

秋山さんのジェスチャーよくわかる!



それ!!ぼ～としとったら、取れんからね!!



とってもわかりやすく教えてくださった秋山さん(左)と玉置さん



■編集後記■ 取材・作成／編集ボランティア OZ

友人と人生のエンディングについて語り合った…なんていうほどカッコいい話じゃないんですけど…。毎年プリクラを撮る友人が「年々、若く撮れるんだわ。今年のなんか見て!」とそれを見せられてびっくり。「わあ ほんとだ～」思わず言ってしまったほど、若く撮れていた。友人曰く「私、そろそろ遺影を準備しようと思ってるんだけど、これにしよっ」誰の遺影かわかるんだろうか…と思っていたら、友人から「プリクラって引き伸ばしが難しいらしい…」とのメールが。来年には引き伸ばしOKの機械になっているといいね…(-“-)



災害の歴史を正しく理解し、
今の危険度を認識してもらうため、
「そこは危ない、高い建物は危ない」と
遠慮なく警告する。

私は、自称いじめっ子である。

(名古屋大学減災連携研究センター長・教授
福和 伸夫氏)

大口町防災啓発委託事業 大口社協/D・サポート丹羽共催

6/29

防災講演会 演題「総力で南海トラフ巨大地震を凌ぐ」

この防災講演会は、大口町防災啓発事業を大口社協が受託し、防災ボランティアD・サポート丹羽と協力し、共催で開催したものです。

講演会には、大口・扶桑の両町長や議員の皆様、地域防災に関心の高い町民やボランティア、総勢

福和氏の講演内容

(抜粋)

日本史の動乱の裏には、災害の歴史が存在する。巨大地震や火山噴火により、領地が壊滅したり、歴史上の要人が亡くなったりすることで、日本史は幾度となく大きく動いてきた。

しかし、そのことがきちんと教えてこられなかった。双方の研究と教育が、連動していなかったためである。

そして、過去の災害の歴史と教訓を忘れた日本人は、建物を建ててはいけない地域に住み始めた。たとえば、かつての海や池に土砂が堆積した軟弱な地盤や、液状化しやすい埋め立て地。水にまつわる地名は、古地図を見ると危険度が一目瞭然である。

238名が出席しました。講師は、日本の減災・災害対策をけん引する専門家の福和伸夫氏。

熱く魅力的な講義に、鈴木町長をはじめ出席者から「非常によかったです」との声が多数きかれました。



「震度とマグニチュードの違いは？」との質問に、大勢で会場を揺らす実演も

今や、消防や警察を含めた官公庁、企業、防災施設までもが危険地域に建てられてしまっている。東京や大阪はひどいが、愛知も例外ではない。

私は、これ以上危険地域に高い建物をつくらないよう、行政のトップに対して警告している。計画者にとって私はいじめっ子だろうが、いじめっ子が言わないと変わらない。

さらに私が主張するのは、東京一極集中からの脱却と、中部の力。首都機能や企業・人を分散させることは災害対策であり、子だくさんで産業も豊かな中部は、充分な受け皿となりうる。

幸い、大口町や扶桑町は、扇状地で伏流水が豊富にあり、田畑が広く、災害が

起きても食糧が確保しやすい。建物も密集しておらず、災害対策の視点から、お得な地域と言える。

そういう地域には、南海トラフ巨大地震が起きたら、すさまじい数の避難民が押し寄せる。甚大な被害が想定される三重や静岡を助けるためにも、愛知は自分たちの被害をゼロにしなければならぬ。

南海トラフ巨大地震の被害想定は、人口差があるため、東日本大震災との単純比較はできない。

しかし、大きな被害想定に対しては、むしろそれを凌ぐために、日本一の減災・災害対策をして、安全な町にする方が前向きである。そして、愛知でその拠点となるのが、名古屋大学減災館である。

バスツアーで、しせつをいっぱい見てきたよ!

8/7

夏休み親子福祉教室

— 福祉教育とは? —

子どもだけのものではなく、人が生涯にわたり、福祉にあたたかい関心を寄せ、さまざまな人と「ともに生きる力」を養うための学びや体験の機会を提供するものです。

大口社協は、福祉教育の一環として、夏休みに家族対象の福祉教室（町内の福祉施設見学バスツアー）を開催しました。身近な地域でさまざまな人の暮らしを知り、家族で福祉に関心を寄せてもらう機会を提供することが目的。当日は、親子・祖母と孫等の家族、社協職員の手計21名が

参加しました。今回のツアーで見学した施設は10カ所。うち7カ所では、施設内の見学や給食の試食、体操・レクリエーションの参加等を体験しました。参加した子どもは、「楽しかった!」と素直な反応。右の作文のとおり、うれしい感想もお寄せいただきました。大人からも大きな反響がありました。「とても勉強になりました。もっとじっくり見たかった。」「このような施設見学は、中高年の人にとって必要。参加しなければ損。」等の声が多数寄せられ、今後の充実が望まれる結果となりました。ご協力いただいた各施設様にお礼申し上げます。

ふくししせつにいったよ

北小1年 いながきかのん

わたしのすんでいるまちの、ふくししせつ10かしょをみてきました。

そこでは、おふるはおうちよりおおいかったです。くるまいすではおはいるおふるがありました。すぐくきれいでした。

えれべえたあがすぐくすぐくおおいかったです。

おくちのじゅんびたいそうと「あじんせいになみだあり」と、「どんぐりころころ」と、てのたいそうを

おじいちゃんとおばあちゃんとやりました。わたしのしっているきよくもあつたけどのしかつたです。

しよくじはすきなものをえらべてよかつたし、おもしろかったです。

おじいちゃんとおばあちゃんとはなしたかつたけど、はずかしかつたからはなせなくてざんねんでした。つぎはおおきいこえではなしたいなとおもいました。

いちねんせいでわからないこともあつたけど、つぎいくときはわかるようにしたいなとおもいました。

(福祉体験作文より抜粋)

デイサービスゆい



ホッとするお家だね~

有料老人ホーム 太郎と花子



お城みたい!

大口社協デイサービス



頭の体操 楽しいな♪

特別養護老人ホーム 御桜乃里 (給食&施設内見学)



施設って安心なんだ~



いただきま~す!

ウエルシア暖らん



おふるもピカピカ!

ハートフル大口



お仕事がんばって!



一緒にやりたいなあ



役場へ到着。お疲れ様でした。

福祉関係団体の話題をご紹介します

大口町遺族会が戦争体験者の講師を派遣

8/20 平和学習会

大口町遺族会では、大口町平和祈念式とあわせて実施される大口中学校平和学習会に講師を派遣しており、大口社協が協力しています。

平和学習会とは、戦争の悲惨さ、平和と命の尊さを次世代に伝承することを目的として、中学2年生を対象に、毎年、戦争体験者の講演会を開催しているものです。

今年度は、元特攻隊員で知覧特攻平和会館初代館長の板津 忠正氏を講師に迎え、「特攻の真実と平和」と題し、講

演が行われました。

板津氏は、若くして散った戦友たちの写真の前に、「生き残った者の使命として、特攻の真実を伝え続けている。写真には扶桑町の人もあり、特攻は身近で起こった出来事と知って欲しい。」と強調。

数々の遺書が物語る隊員たちの想いにも触れ、平和と命の尊さを訴えました。



板津 忠正 氏(89) 犬山市在住、知覧特攻平和会館初代館長

1945年(昭和20年)20歳で陸軍特別攻撃隊員となり、同年5月28日に鹿児島県知覧基地より出撃したが、途中エンジントラブルにより不時着し帰還。その後2回の出撃命令が出るが、雨のため中止となり終戦を迎える。戦後50年にわたり、特攻で亡くなった方の慰霊と資料収集に尽力し、1036人全員分の遺影を集める。

大口町心身障害児(者)親の会 学齢部

7/24・8/21 夏の活動を行いました

大口町心身障害児(者)親の会学齢部では、長い夏休みに有意義かつ楽しい経験をとの思いつから夏の活動として様々なことを行っています。

今年度1回目の活動は、7月24日(木)に「作って遊ぼう会」を行いました。ペットボトルで弓を、ストローで矢を作りました。また、お絵描きせんべい等「作る」ことを中心に行いました。

2回目の活動は、8月21

日(木)に「みんなで遊ぼう会」を行いました。この日は子どもたちの交流を深めるためにゲームを4種類行いました。ゲームの中には苦戦するものもありましたが、くじけず何度も挑戦するとうう去年より成長した姿を垣間見ることができました。

両日とも短い時間でしたが、お友達と楽しい時間を過ごすことができたと思います。

(親の会学齢部代表)



ロープウェイ&
お土産付



赤い羽根共同募金配分金事業
**重度身体障がい者
日帰り旅行 参加者募集**

- 日時** 平成26年10月27日(月曜日)
- 行き先** 長野県 富士見台高原
天空の楽園 ヘブンス園原とリンゴ狩り
- 対象者** 身体障害者手帳1級・2級をお持ちの方と
介助者(内部疾患の方を除く)
- 交通手段** 大型リフト付き観光バス
(車いすをご利用の方も安心してお出かけ
いただけます)
- 募集定員** 25名(定員になり次第締め切ります)
- 参加費** 3,000円
- 申込** 10月2日(木)午前9時から(電話申込み可)
- 申込・お問合せ先**

社会福祉協議会 ☎ 94-0060

平成26年10月~12月分

心配ごと相談所開設日程

専門の相談員が対応し、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

●母子自立支援相談(第1水曜日)

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。

●女性相談(第1・3水曜日)

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。

| 内容 月 | 母子自立支援相談 女性相談 10:00~15:30 | 女性相談 10:00~15:30 |
|---------|---------------------------------|---------------------|
| 10月 | 1日(水) | 15日(水) |
| 11月 | 5日(水) | 19日(水) |
| 12月 | 3日(水) | 17日(水) |

●高齢者・障がい者の弁護士相談(第4水曜日)

ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごとの相談にのります。

| 内容 月 | 高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30~16:30 | ※弁護士相談は 完全予約制です 相談時間はおおむね 30分間ですので、あ らかじめ相談内容をま めてきてください。 |
|---------|-----------------------------------|--|
| 10月 | 22日(水) | |
| 11月 | 26日(水) | |
| 12月 | 24日(水) | |

予約受付:社会福祉協議会 電話 94-0060

**ひとり親家庭日帰り旅行
参加者再募集**



ひとり親家庭夏休み日帰り旅行が台風により中止となりましたので、参加者を再募集します。※なお、申込みは先着順ですが、中止した旅行の参加者を優先的に受け付けさせていただきますので、ご了承ください。

- 日時** 11月23日(日曜日) ※午前7時出発
- 集合場所** 大口市役場南側駐車場
- 行き先** 大阪市ユニバーサルスタジオジャパン
- 参加費** 大人(中学生以上) 4,000円
小人(4歳以上~小学生) 2,000円

参加費に含まれるもの

往復バス代、バス旅行傷害保険、
ユニバーサルスタジオジャパンパスポート
※食事代は含まれません

- 要件** 町内在住のひとり親家庭で、子どもさんの年齢は18歳以下
- 募集定員** 45名(定員になり次第締め切ります)
- 申込** 10月8日(水)午前9時から
※来所または電話等でお申込ください

申込・お問合せ先

社会福祉協議会 ☎ 94-0060

災害義援金募集

大口市協事務局の窓口では、現在、下記の災害義援金の受付を行っています。

お問合せ先:大口市協共同募金委員会 94-0060

●平成26年広島県大雨災害義援金

平成26年12月26日(金)まで

●7.9南木曾町豪雨災害義援金

平成27年3月31日(火)まで

●平成26年8月京都府豪雨災害義援金

●丹波市豪雨災害義援金(兵庫県)

●平成26年徳島県台風11・12号災害義援金

平成26年10月31日(金)まで

介護予防・認知症予防で大注目の回想法が、大町で学べます!

回想法基礎研修

講師 **来島 修志氏**

日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 助教



病院や高齢者施設の認知症をもつ方々に対し、作業療法や回想法を実践してきた経験より、現在は認知症ケアにおける回想法に関する講演・研修をはじめ、地域の認知症予防を目指す。

愛知県北名古屋市をはじめ岐阜県、青森県、兵庫県、静岡県などで「地域回想法」の普及とまちづくりに取り組んでいる。

| | |
|---------|---|
| 日時 | 12月21日(日曜日) 午前9時45分から午後4時30(予定) |
| 場所 | 大町健康文化センター1階 多目的室 |
| 定員 | 40名(定員になり次第受付を終了) |
| 対象 | ふれあいサロンや介護予防に関心のある方 (介護事業者の方については、大町内に事業所がある場合に限りです) |
| 参加費 | 3,000円(テキスト代) ※昼食は各自 |
| 内容 | 【午前】ワークショップ「回想法の体験」 【午後】講義 「地域の方々に対する回想法とまちづくり」 ※研修内容は変更の可能性があります。 |
| 申込み | 平成26年10月6日(月) 午前9時から ※来所または電話等でお申込ください |
| 申込み問合せ先 | 社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059 |



大町歴史民俗資料館の収蔵・展示品。懐かしい品々にあの頃の記憶がよみがえり、同じ時代を知る仲間と思い出話に花が咲きます。

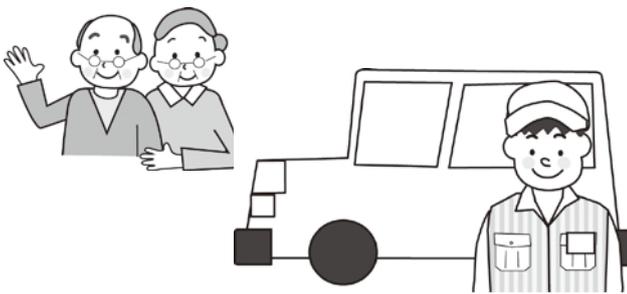
一回想法とは?

自らの経験や、昔懐かしい道具をもちいてその体験を語り合う(回想する方法)。アメリカの医師により考案され、回想法は脳を活性化させ、気持ち(心)を元気にするという効果が報告されたことから、非常に注目されています。

北名古屋市は、「回想法のまち」として全国で一躍有名になった先進地。回想法を日本で初めて地域の中に取り入れ、「地域回想法」として介護予防、認知症予防や地域づくりの事業を実施しています。回想法は、65歳以上のシニア世代の活性化や歴史民俗資料館の活用、生活文化の伝承、世代間交流へとつながっています。

空き時間を利用して、車の運転なら自分にもできるという方、定年後の第2の人生を活かしたい方、大歓迎です!

ふれあいサロン 運転ボランティア養成講座 受講者募集



～ふれあいサロンの運転ボランティアとは?～

大口社協では、町内で開催するふれあいサロンの活動を支援しています。「サロンに行きたいけど、徒歩や自転車で行けない。車で送迎してくれる人もいない。」というお年寄り等の声にお応えするため、運転ボランティアによる送迎を計画しています。送迎には、社協が所有する車両を使用します。

| | |
|---------|---|
| 日時 | 11月12日(水曜日) 午前10時～午後3時(1回講座) |
| 場所 | 大口町健康文化センター1階 多目的室他 |
| 定員 | 20名(定員になり次第受付を終了) |
| 対象 | 次の条件を満たす方(居住地は問いません) ①概ね40歳から74歳の方 ②普通自動車免許を取得し、過去2年以内にその効力が停止されていない方 |
| 参加費 | 500円 ※昼食は各自 |
| 内容 | ①講義「ストップ・ザ交通事故」 講師 愛知県県民生活部地域安全課 交通安全グループ主査 甲 純一郎氏 ②実技講習(社協の車両を使用) |
| 申込み | 平成26年10月6日(月) 午前9時から |
| 申込み問合せ先 | 社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059 |